

湖南省聴覚障害者サロン事業について

1. 事業化の背景

令和6年度の聴覚障害者協会から「高齢聴覚障害者が日中集まって楽しく過ごせる場を設けてほしい」との要望を受け、令和7年度より湖南省との共催事業として、“湖南省聴覚障害者サロン事業”を開催しています。甲賀圏域では社会福祉法人が主体となったサロン事業の開催をしていましたが、より身近なところで参加できる交流の場の必要性から試行的に実施を始めたものです。当事者団体のニーズによる企画・立案により運営しています。

2. 事業目的

市内に住む聴覚障がい者の方は、手話や筆談等のコミュニケーション手段が様々であり、社会参画や地域参加が困難な方もおられます。特に高齢障がい者の方は、一般的なデイサービスや老人クラブ等でコミュニケーションが取れず、疎外感を抱き、ひきこもりがちとなり、孤立化し、心身が衰えやすくなります。

このことから聴覚障がい者の方が楽しくコミュニケーションが取れる場を設けて、いきいきと社会参加できることを目的としています。

3. 主 催

湖南省聴覚障害者協会（共催 湖南省）

4. 対 象 者

湖南省に住所を有する聴覚障がい者

5. 開催内容

日 時	場 所	内 容	参加者
令和7年9月10日（水）	菩提寺まちづくりセンター	湖南省の歴史について	27人
令和7年9月10日（水）	岩根まちづくりセンター	多肉植物を植えよう	12人
令和7年12月10日（水）	サンライフ甲西	家でできる体操	—
令和8年3月11日（水）	三雲コミュニティセンター	ゲーム大会	—

※裏面に第1回および第2回の“湖南省聴協ニュース”を記載しております。

（裏面に続く）

湖南市聴協ニュース

第216号

発行日 2025年6月15日
発行所 湖南市聴覚障害者協会

サロン盛り上がり



去る6月10日(火)朝10時から12時まで菩提寺まちづくりセンターで第1回湖南市聴覚障害者サロンが開催されました。聴覚障害者の孤立化を防ぎ、地域と交流を深めようとする試みで、ろうの人、あじさい手話サークルの会員等 27名が集まりました。和田さんの司会で、まず藤谷会長から「湖南市に住む聴覚障害者が生活に潤いを持つて暮らせるようみんなで協力し合いながら交流を深めてほしい」、木田障がい福祉課長から「サロンの開設を祝うとともに湖南市からも協力していきたい」と挨拶がありました。

この後木戸事務局長から坂尾昭彦講師の紹介があり、続いて「ふるさと再発見」のテーマで講演が行われました。モニターに映し出された湖南市の色々な風景に講師がユーモラスに解説され、盛り上りました。

東海道53次(駿河広重)に美松の絵があり、江戸時代から湖南市を描いた絵が4枚あること、湖南市に散在する古墳群、寺の歴史など参加者にとって初めて知ることが多かった講演でした。講演の後、質疑応答がありました。

次に交流会があり、米の値段が話題になりました。12時に閉会しましたが、時間が足りない感じ

でした。

次回は9月10日岩根まちづくりセンターで行われます。

参加者の感想

湖南市に引っ越してきて十二坊の磨崖仏を見た時すごく感動したのを覚えています。その時みた石垣が？？といつも思っていましたが、わかつてよかったです。湖南市は何もないなとよく言ってたけど、お話を聞いてびっくり、歴史ある町と知り、色々と勉強になりました。

たくさんの写真を見せていただき、知らないことはばっかりで出かける時には今日聞いた話を思いだしながら見学して楽しみたいと思います。今日は楽しい話をありがとうございます。

手話奉仕員養成講座(入門)開講

令和7年度湖南市手話講座(入門)を開講されます。

つきましては、6月24日(火)湖南市役所3階大會議室で第1回開講(1)「聴覚障がい者の生活」におきまして、貴協会から①家族、地域の人とのコミュニケーション②子育てで困ること③職場で困ることです。①和田えみさん、②山本正和さん、③久保孝さんです。

また、開講式に湖南市聴覚障害者協会の藤谷会長が挨拶をします。

【目的】聴覚障がい者に対する理解を深め、手話で会話ができる市民を増やすことを目的とします。

【期間】令和7年6月24日～令和8年2月10日

【場所】湖南市役所東庁舎3階大會議室

【内容】テキスト『手話奉仕員養成trキスト 手話を学ぼう 手話で話そう』

【定員】20名

湖南市聴協ニュース

第222号

発行日 2025年9月14日
発行所 湖南市聴覚障害者協会

ミニ多肉植物鉢植え完成！



9月10日(水)岩根まちづくりセンターで第2回聴覚障害者サロンが行われました。今回のテーマは「ミニ多肉植物」で、会員や手話サークルの人合わせて12名が参加しました。

手のひらサークルの西野真寿美さんが講師を担当し、中村順子さん(同じサークル)がサポートにあたりました。西野さんは園芸が趣味で、自分の経験を踏まえて、作り方を説明、指導されました。

参加者は説明を聞きながら、それぞれ鉢に軽石、土を順に入れ、色々な多肉植物をピソセットで植え込んでいました。初めて挑戦する人がほとんどで、最後には多彩な鉢が出来上がっていました。みんながそれぞれ鉢植えが終わった後、各自で作品をも回ったり、作った感想を発表したりしました。

最後にみんなで、鉢植えを掲げて写真を撮りました。昼前に後片付けて、笑顔で解散しました。

講師より感想



西野真寿美講師の感想です。

皆さんが喜んでくださって(いいね)

それが一番のご褒美です。

笑顔がいっぱい見られましたね(笑顔)

準備は大変だなあ

と思いながら買い物に行ったり植物をそだてたりしましたが、とても良い経験になりました(とてもいいね)

ありがとうございました(ありがとうございました)

参加者の感想



9月10日、岩根まちづくりセンターで聴覚障害者サロンが開催されました。

当日現場に行くとすでに準備できていました。

じゅうたんの床にブルーシートがありテーブルと椅子が用意されていました準備万端で藤谷さんの手作りで竹のスコップもありました。

この暑い中、たくさん作ってくれありがとうございます。

果肉植物にあまり興味はありませんでしたが作っているうちにだんだん可愛く思えてきました。

途中私の作品を見て和田えみさんが貧弱だもっといぱい入れたらと言われたが シンプルイズベストと思い、反論できませんでした。

後で皆さんを見比べると豪華に盛られていきました。

楽しい時間を過ごしあげたとおもいます。

まだまだ手話を読み取がれませんが機会があれば参加して馴染みたいと思います。

(吉澤範明)

第2回聴覚障害者サロンに参加して

的場信子

1回目のサロンでは、湖南市の歴史を学び、今回は多肉植物の寄せ植えを学びました。

多肉植物の種類の多さや、どこを切ってもそのまま育つ生命力の凄さを知り、楽しく、学びました。皆さんのおかげで、とても楽しかったです。

ただひとつ気になったのが、女性の参加者2人のことです。

私は突然性難聴になってからは、人の会話が分かりにくく、家から出るのが嫌になっていました。でも手話を学ぶことによって少しづつ会話が分かるようになると集まりに出掛けとみようと思うようになりました。今回の講師の方の手話はよく分かり楽しかったです。聴覚障害があっても、もっと色々な集まりに参加出来るよう手話が広がり、サロンが長く続き、女性の参加がもっと増えるよう頑張っています。